

- 問1 河川が海や湖に流れ込む河口付近において、運ばれてきた細かな土砂が堆積することで形成された低くて平坦な地形の名称と、その一般的な土地利用の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|--|
| 1. 扇状地：標高が低く平坦なため、主に水田として利用される | 2. 三角州：水分を得やすいため、主に水田として利用される | 3. 三角州：水はけが非常に良いため、主に果樹園として利用される | 4. 扇状地：土砂の粒が大きく水を通しやすいため、主に果樹園として利用される |
|--------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|--|
- 問2 日本各地の気候について、長野県長野市と沖縄県那覇市の統計を比較したとき、那覇市の気候の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。なお、那覇市は一年を通して月平均気温が15度を上回り、長野市で見られるような冬の氷点下への落ち込みがありません。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 一年を通じて気温が高く、夏と冬の気温差を示す年較差が小さい。 | 2. 内陸部に位置するため夏と冬の寒暖差が激しく、年較差が大きい。 | 3. 梅雨や台風の影響で夏に降水が集中し、冬の降水量はほぼゼロになる。 | 4. 季節風の影響により、冬の降水量が夏の降水量を大きく上回る。 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
- 問3 日本の地形図において、ある地域では西側の低い土地に水田が見られるのに対し、東側の標高が高い平坦な地域には茶畑の地図記号が密集しています。このような地形の名称と、土地利用の特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---------------------------------------|
| 1. 地形：三角州、土地利用：土砂が堆積した肥沃な土地で、茶の栽培が最も盛んである | 2. 地形：干拓地、土地利用：海を埋め立てた平坦な土地で、茶の輸出拠点が置かれる | 3. 地形：台地、土地利用：水が得にくい性質を利用して、茶などの畑作が行われる | 4. 地形：扇状地、土地利用：水はけが悪いため、主に果樹園として利用される |
|---|--|---|---------------------------------------|
- 問4 平地が少ない都市で行われる「山地造成と海面埋め立て」による開発手法について、この手法で生まれた土地の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2023年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|---------------------|
| 1. 山地側：歴史的建造物の保存地区／海側：大規模な水田 | 2. 山地側：ニュータウン（住宅地）／海側：人工島（市街地・港湾施設） | 3. 山地側：採石場／海側：干拓による大規模農場 | 4. 山地側：工業団地／海側：森林公園 |
|------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|---------------------|
- 問5 自然災害による被害を最小限に抑えるために自治体などが作成している地図について、その内容を説明した次の文の（ ）にあてはまる最も適切な語句を選びなさい。「この地図は、科学的な根拠に基づいて大雨の際の（ ）や土砂災害の危険箇所を予測し、避難場所や避難経路などの情報を住民に提供することを目的としている。」 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 等高線の密度 | 2. 地価の公示価格 | 3. 土地利用の変遷 | 4. 浸水予想区域 |
|-----------|------------|------------|-----------|
- 問6 台風が接近した際に、中心付近の気圧が低いために海面が吸い上げられたり、強い風によって海水が海岸に吹き寄せられたりすることで、海面が異常に上昇する現象を何といいますか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|--------|-------|
| 1. 高潮 | 2. 液状化現象 | 3. 火砕流 | 4. 津波 |
|-------|----------|--------|-------|
- 問7 自治体が発行する防災資料において、洪水時の浸水想定区域や土砂災害警戒区域、および指定緊急避難場所などの情報を住民に提供する主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 土地の起伏や標高を正確に示し、道路建設などの公共事業の計画を住民に知らせるため | 2. 観光客に対して地域の自然環境を詳しく紹介し、エコツーリズムを推進するため | 3. 住民が地域の災害リスクを正しく理解し、災害時に迅速かつ適切な避難行動をとれるようにするため | 4. 地域の土地利用の歴史を記録し、伝統的な景観を維持するための資料とするため |
|--|---|--|---|
- 問8 日本の冬の気候に大きな影響を与える北西の季節風（モンスーン）の仕組みと、日本海側の特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 大陸から吹き出す冷たく乾いた風が、日本海を渡る際に暖流の影響で水蒸気を蓄え、山脈にぶつかることで日本海側に雪をもたらす。 | 2. 小笠原高気圧から吹き出す湿った風が、日本海を渡る際に水分を失い、日本海側の降水量を減少させる。 | 3. 大陸から吹き出す冷たく乾いた風が、山脈を越えて太平洋側に達することで、日本海側に乾燥した晴天をもたらす。 | 4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい風が、日本海側に冷害をもたらし、冬の降水量を極端に少なくさせる。 |
|---|--|---|---|
- 問9 ある自治体において、土砂災害時の避難所を検討しています。北側に急峻な山地が迫り等高線が密集している地点Aと、山地から離れた平坦な市街地に位置する地点Bを比較したとき、地点Aが避難所として不適切とされる理由を、地形の観点から説明したものとして適切なものを選びなさい。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 市街地から離れた場所は建物の密度が低いため、地震が発生した際の火災による延焼被害が大きくなるため。 | 2. 等高線の密度から判断して、背後の山地で崖崩れや土砂災害が発生し、巻き込まれる危険があるため。 | 3. 山間部は平坦な土地に比べて地盤が柔らかく、地震の際に液状化現象が発生しやすいため。 | 4. 等高線が密集している場所は標高が低く、周辺の河川が氾濫した際に浸水被害を受ける可能性が高いため。 |
|--|---|--|---|
- 問10 三重県の志摩半島などの沿岸部に見られる、山地が沈降したり海面が上昇したりすることで形成された、複雑に入り組んだ鋸歯状の海岸線を何といいますか。 (2023年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|----------|-------|
| 1. 三角州 | 2. 干拓地 | 3. リアス海岸 | 4. 砂州 |
|--------|--------|----------|-------|
- 問11 日本の諸都市のうち、豊橋市、富山市、松山市、熊本市の4地点における月別平均降水量を比較したとき、12月から2月の冬季において降水量が最も多くなる都市として適切なものを選びなさい。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 熊本市 | 2. 豊橋市 | 3. 松山市 | 4. 富山市 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問12 複雑に入り組んだ海岸線を持つリアス海岸では、その地形的特徴を活かしてカキやワカメなどの養殖が盛んに行われています。この地形が養殖業に適している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 干拓によって作られた平坦な土地が広がり、作業効率が良いため | 2. 火山の噴火によってできた栄養分豊富な湖が海とつながっているため | 3. 遠浅の砂浜が広がっており、日光が海底まで届きやすいため | 4. 奥行きのある湾内は外海の影響を受けにくく波が穏やかであるため |
|----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
- 問13 日本の本州を南北に縦断し、地質学的に東西に分ける境界線として知られる巨大な地溝帯があります。ラテン語で「大きな溝」という意味を持つ、この地形の名称として正しいものを選びなさい。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|----------|----------|------------|
| 1. 環太平洋造山帯 | 2. 中央構造線 | 3. 南海トラフ | 4. フォッサマグナ |
|------------|----------|----------|------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 三角州：水分を得やすいため、主に水田として利用される	河口付近に形成される三角州は、河川が運んできた粒の細かい泥や砂が積もってできた地形です。高度が低く平坦であり、水分を保持しやすいため、古くから水田として開発されてきました。一方、選択肢にある扇状地は山地から平地に出る場所に形成され、砂礫（石）が多く水はけが良いという異なる特徴を持ちます。
問2	答え 1 一年を通じて気温が高く、夏と冬の気温差を示す年較差が小さい。	沖縄県などの南西諸島は低緯度に位置し、周囲を暖かい海に囲まれているため、一年を通して温暖で気温の変化が穏やかです。そのため、最暖月と最寒月の差である「年較差」が、冬の冷え込みが厳しい長野県などの内陸部と比較して小さくなるのが特徴です。また、湿った空気の影響を受けやすく、年間を通じて一定の降水量が見られる点も、冬に乾燥する内陸部や太平洋側の気候とは異なります。
問3	答え 3 地形：台地、土地利用：水が得にくい性質を利用して、茶などの畑作が行われる	標高が高く、表面が平坦な地形を「台地」と呼びます。台地は周囲の低地と比べて水が得にくいという制約があるため、稲作ではなく、茶や野菜、果樹といった畑作に利用されるのが一般的です。静岡県の磐田原台地周辺などは、この地形的な特徴と土地利用の関係が非常にはっきりと表れている典型的な事例です。
問4	答え 2 山地側：ニュータウン（住宅地）／海側：人工島（市街地・港湾施設）	山地を削って得られた平坦な土地は「ニュータウン」として市街地化され、その土砂で海を埋め立ててできた人工島は、港湾機能、工業用地、あるいは新たな市街地として利用されます。単なる土砂の処分ではなく、両方の場所を新しい都市空間として活用するのがこの手法の特徴です。
問5	答え 4 浸水予想区域	ハザードマップは、自然災害による被害を予測し、その範囲を地図上に示したものです。具体的には、大雨の際の浸水予想区域や土砂災害の危険箇所、避難場所などが記載されています。これにより、住民は平常時から自分たちの住む地域のリスクを確認し、迅速かつ安全な避難行動につなげることができます。
問6	答え 1 高潮	台風の接近に伴う気圧の低下や強風という気象要因によって引き起こされる海面上昇を「高潮（たかしお）」と呼びます。地震によって発生する「津波」や、地震の振動で地盤が液体状になる「液状化現象」、火山の噴火に伴う「火砕流」とは、発生の仕組みが明確に異なります。特に遠浅の海や、入り口の広い湾内では被害が大きくなりやすい傾向があります。
問7	答え 3 住民が地域の災害リスクを正しく理解し、災害時に迅速かつ適切な避難行動をとれるようにするため	ハザードマップは、自然災害による被害の可能性を可視化することで、住民の防災意識を高め、避難のタイミングや経路を事前に検討させる役割を担っています。これにより、実際の災害発生時に混乱を避け、命を守る行動につなげることが最大の目的です。
問8	答え 1 大陸から吹き出す冷たく乾いた風が、日本海を渡る際に暖流の影響で水蒸気を蓄え、山脈にぶつかることで日本海側に雪をもたらす。	冬になると、ユーラシア大陸にあるシベリア高気圧から冷たく乾燥した北西の季節風が吹き出します。この風が日本海を渡る際、暖流である対馬海流の影響で大量の水蒸気を取り込み、湿った空気に変化します。これが日本の脊梁山脈にぶつかって上昇気流が発生することで、日本海側に雪や雨を降らせます。山を越えた後の風は乾燥するため、太平洋側では晴天が多くなります。
問9	答え 2 等高線の密度から判断して、背後の山地で崖崩れや土砂災害が発生し、巻き込まれる危険があるため。	地形図上で等高線が密集している場所は急傾斜地（崖や山地）を指します。土砂災害時の避難場所を検討する場合、その地点自体が平坦であっても、すぐ近くに急な斜面がある場所は、崖崩れなどの二次被害に遭う恐れがあるため避難所には適しません。一方で、山から離れた平坦な市街地は、土砂災害に関しては地点Aよりも相対的に安全と言えます。
問10	答え 3 リアス海岸	山地が海に沈む「沈降」などの地殻変動や、地球規模の海面上昇によって、かつての谷の部分に海水が入り込むことで形成されます。複雑な形状の海岸線は波が穏やかになりやすく、古くから天然の良港として利用されたり、真珠やカキなどの養殖業が盛んに行われたりしてきました。
問11	答え 4 富山市	日本海に面する富山市は、日本海側の気候区に属しています。冬になるとシベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、暖流の流れる日本海を渡る際に水蒸気を多く含み、日本列島の山脈にぶつかることで雪を降らせます。そのため、太平洋側に位置する豊橋市や、瀬戸内の松山市、九州西部の熊本市と比較して、冬季の降水（降雪）量が顕著に多くなる特徴があります。
問12	答え 4 奥行きのある湾内は外海の影響を受けにくく波が穏やかであるため	リアス海岸は、突き出た岬によって外海からの強い波が遮られるため、湾の中が非常に穏やかな状態に保たれます。このため、養殖いかだなどの設備を設置・管理しやすく、三陸海岸ではカキやホタテ、志摩半島では真珠などの養殖が発展しました。
問13	答え 4 フォッサマグナ	フォッサマグナは、ドイツの地質学者ナウマンによって命名された地質学上の境界線です。ラテン語で「大きな溝」を意味し、日本列島が形成される過程で生じた巨大な溝に新しい地層が埋まってできた場所です。日本アルプスの東側に位置し、これによって本州は地質構造の異なる東日本と西日本に分けられています。